

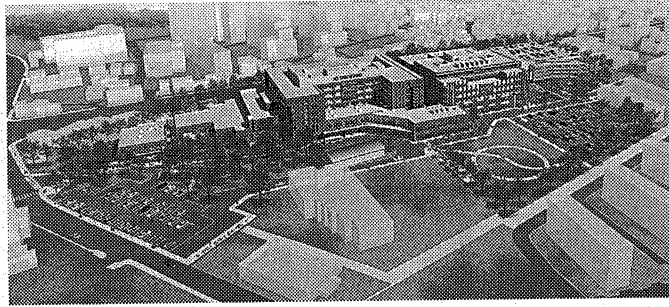
清水建設、JFEシビルで起工

設計・監理＝大建設計

新外来・新病棟、立体駐車場

埼玉病院

新外来・新病棟などの完成イメージ(提供・国立病院機構埼玉病院)



国立病院機構埼玉病院(埼玉県和光市、関塚永一院長)が進める「新外来・

新病棟等新築整備工事」と「立体駐車場整備工事」が始まり、13日に現地で地鎮祭が行われた。いずれも設計・監理は大建設計、建築の施工は、新外来・新病棟を清水建設、立体駐車場をJFEシビルがそれぞれ担当する。

神事では、大建設計の菅野尚教取締役専務執行役員、東京事務所長が鎌、関塚院長が鍬、清水建設の山中庸彦常務執行役員、関東支店長とJFEシビルの森田昌敏常務が鋤を入れ、工事の無事完成を祈願した。



鎌を入れる菅野事務所長

式典後、関塚院長は「皆さまに安全に造っていただき、きちんと事業をやっていくことで一層地域に愛される病院にしていきたい」と語った。大建設計の菅野所長は「既存施設の改修部分も多く、難しい工事となる。みんなで力を合わせてやっていければ」と述べた。

清水建設の山中支店長は「使いやすい建物となるよう細心の注意を払い、工事に取り組みたい」と話し、JFEシビルの森田常務は「各社と密接に連携して工



鍬を入れる関塚院長

事を進めたい」と述べた。

新外来・新病棟等新築整備工事は、同病院の敷地内に新外来・新病棟を新築するほか、既存病棟の改修や解体を行う。新築する建物の規模はS造6階建て延べ約2万3850平方メートル。既存建物はRC造6階建てで改修面積は約6200平方メートル。電気設備工事は関電工、機械設備工事は日比谷総合設備が担当する。立体駐車場整備工事は、S造自走式4層5段で、延べ1万1300平方メートルの立体駐車場を新築する。

新築する。



鋤を入れる山中支店長

齊藤正所長(清水建設)の話



「地域の医療を担う施設を担わせてもらい、光栄に思う。患者さまや近隣の皆さまなどに迷惑の掛からないように工事に取り組みたい」

栗原拓郎所長(JFEシビル)の話



「施工に当たっては、病院に駐車している車などの事故に気を付けたい」。



鋤を入れる森田常務